

東仙台地区社会福祉協議会

東仙台地区社会福祉協議会

会長 渡辺 公一

新型コロナウイルスが世界規模での感染により今年度も地域団体の活動が制約を受け、殆ど全ての行事の停止状態が続いている状況ではありましたが、感染対策を十分行い3年振りで「地区社協研修会」を開催させていただきました。

研修会のテーマは『人生のバトンタッチ』と題し「自分自身の終活とスムーズな次世代への引き継ぎ」について、地元でお仕事をされている行政書士の千葉帯之氏を講師に迎え、相続問題を中心にお話をいただきました。当地区は宮城野区内でも2番目に高齢化率が高い地区でもあり、最近空き家の増加が各町内会でも問題になっています。これらの問題は、結局は家族間の問題です。東仙台地区内では二世帯家族が同居している割合は非常に低く、親世代が他界した後その家を継承していくケースも低くなっています。一人暮らしの方々や、高齢夫婦も増加傾向にあり、以前から小地域福祉活動の一環として各町内会には見守り活動をお願いしており、また東仙台地区社協傘下の「東仙台よろこびの会」にも高齢者支援のための活動を行って貰っています。東仙台地区社協の理念である「地域福祉の安心」について、関係する諸団体および関係者が今後もその理念を堅持しながら活動が続けていかなければならないと思います。今年も宜しくお願い申し上げます。



受賞おめでとうございます【敬称略】
仙台市社会福祉協議会会長表彰
地区会長20年

渡辺 公一

地域福祉活動

荒木 美代子

小澤 恵子

小野 千恵子

伊藤 宣子

今野 孝哉

鈴木 秀昭

柴田 成子

瀬上 千恵子

仙台市ボランティア協会会長表彰

姉齒 ひさ子

猪股 茂子

宮城県知事表彰民生功労表彰

荒木 美代子

今年度着任された先生方

東仙台中学校教頭

根元 光一先生

東仙台小学校教頭

小林 道治先生

西山中学校 校長

狩野富士子先生

西山小学校 教頭

太田 秀俊先生



WELCOME

「なわとびジャンプ台のプレゼント」

東仙台学区子ども会育成会 会長 堀越 充

私たち「子ども会育成会」では春と秋に子どもたちと一緒に楽しむ行事を開催していますが、コロナ禍の影響で(他のさまざまなイベントと同じように)自粛・中止の状況が続いています。この状況の中でも子どもたちのために何か出来ることがないものか…といろいろ考えた末に、なわとび用のジャンプ台を思いつき4台作成して小学校にプレゼントしました。

「これがあれば高くとぶことができる！だから、なわとびが上手にできる！」と子どもたちには好評で、台の表面の色や塗装した校章マークも擦れて見えなくなってしまうそうです。

写真は、作成した令和3年12月のものです。小学校に足を運ぶ機会がございましたら、現在の様子もご覧になってみてください。また子ども会に加入していて東仙小ではない小学校に通う子どもたちはこの台を使えないので、不公平にならないよう跳び縄を個別に届けました。

最後になりますが、私たちが子どもたちのために活動できるのも、社会福祉協議会様からの助成のおかげといつも感謝しております。



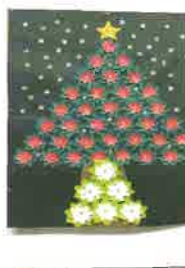
折り紙でボランティア 及川 幸子さん



東仙台よろこびの会に及川幸子さんという方がいらっしゃいます。ボランティア活動の中で、数多くの折り紙作品を手掛けていただいています。手作りお弁当に添えたり、季節に沿った作品を会員の皆さんにお配りしています。春にはお雛様、夏には七夕飾り、秋には敬老の祝いの長寿にちなんだものなどアイデアいっぱいの作品で大変喜ばれています。及川さんは定年退職後の楽しみにと折り紙を習い、それをきっかけにグループを立ち上げ、コロナ前は福祉施設で利用者の方と一緒に作品を作ったり、シルバーセンターなどで展示を行っていました。折り紙は家事の合間に何も考えず夢中になれる、一枚の紙から色々な作品を生み出す事が出来るのが魅力だと話しています。繊細で美しい作品は及川さんの人柄そのものだと思います。今後も素敵な折り紙作品を作って頂けることを楽しみにしております。



配布した七夕ミニ飾り



東部市民センター展示
クリスマス作品



東部市民センター展示
クリスマス作品

～地域の活動紹介～ 安養寺下町内会 ゴミ出し支援委員会



令和2年、仙台市より地域ゴミ出し支援活動へ促進事業奨励金が交付される事を知りました。高齢者や障害のある方などゴミ出しが困難な世帯に対し、町内会の役員さんがボランティアを引き受けて下さり、福祉ネットワーク活動の世話人2名も加わって高齢者一人暮らし、高齢者夫婦世帯4軒に、月曜日・水曜日・木曜日の朝8時に玄関口へゴミを出していただいています。家庭ゴミ1回あたり140円が半期ごとに町内会の通帳に入金されます。お金はボランティアさんで活用して下さいと提案され委員会を立ち上げました。ボランティア保健に加入して、冬には雪かき支援もしているので、令和3年には年間64,120円をいただきました。現在令和4年前期を申請しています。今年度から提出書類も少なくなり、新規追加として粗大ゴミ等も対象となり、町内会の協力にとっても感謝しています。

地域に根付きつつある 「かたるべ」

「かたるべ」の出発は2020年7月、地域でお茶を飲みながらかたるべ～よ～ どなたでも参加できる場所が有ったら・・・そんな願いからのスタートでした。新型コロナウイルス感染症拡大があり活動継続には苦渋もありましたが、地域の多くの方々や諸団体の方々の協力にも恵まれ、活動継続が来ています。午前10時、場所は善応寺、星御住職は静かに入ってこられ、にこやかに挨拶され、三百年続く伊達家のお位牌を守る二十六代目であるという事を言われました。「この所寒くなり鐘をつくのもつらくなりました」とポツリと本音(?)も…御住職の誠実さをのぞかせたひと言でもありました。本日の講話は「看脚下」(足元には気をつけていきましょうの意味)。「本来人はこうあるべき」も大切な事、しかし種々の理由でさらに望むと望まざるにかかわらず、次々と難問が降りかかってくるものである。それを見守る人々は自分の立ち位置をしっかりと守りつつ心くばりのできる人でありたい、と結ばれました。次は調剤薬局の管理栄養士の方々による骨密度測定、お一人おひとりに丁寧な説明をしていただきました。「かたるべ」を通し、包括支援センターの方々は医療・福祉その他の情報提供や相談など地域での居場所作りに多大な貢献をしてくださっており、『誰一人孤立させない』を心掛けておられている事がわかりました。



満百歳おめでとうございます

燕沢町内会 畠山 イワ子様

大正10年10月6日生

御立場町内会 伊藤 サク子様

大正12年1月5日生



畠山さん



伊藤さん

地区社協研修会 11月30日(火) 於東仙台コミュニティ・センター

「人生のバトンタッチ ―高齢化が進む地域にあって、次世代に継承する諸課題―」と題して3年振りに社協研修会を実施しました。講師に松岡町の帯安行政書士事務所-所長 千葉^{たてゆき}帯之様をお迎えいたしました。人生を閉じる方向にベクトルを向けたテーマは難しい問題ではありますが、人生の集大成としての大切な心得でもあります。今回は遺言に関するあれこれと、介護関連の知識として覚えておく必要がある内容等を厳選して教えて頂きました。

◎遺言方法は大きく分けて3通り

- ①自筆証書遺言を法務局に預ける
- ②自筆証書遺言を自宅で保管
- ③公正証書遺言

※エンディングノート等を書いておく方法もあるが発見されないと意志とは異なる遺言分割協議になってしまう可能性がある。

◎遺産分割協議

遺言書がないときで、相続人が2名以上いるときに作成する書類

※不動産に関する書類は法務局から取得

◎介護サービスを利用する場合はケアマネージャーさんとの相性も大切なポイント！

洗濯・入浴・掃除などどこまでやってくれるか、またはどこまでやってもらいたいかなどの確認も大切。事前に確認しておいた方が良い事柄や、最期を病院で迎えるか家で迎えるかなどの終末医療に関する心得などもご教示いただきました。

今回はコロナ禍で研修会の参加人数を制限させていただきました。研修会資料をご希望の場合は地区社協役員に問合せ下さい。



小地域福祉ネットワーク活動に対する皆さまの多大なご協力に感謝申し上げます。右記は今年度上半期の実績数ですが、令和3年度の年間実績数は支援活動対象者が500名余り支援活動数はおよそ700回でした。

日常的に見守り支援やその他の活動支援を行ってくださっている、ということがこの数字に現れていると思います。ありがとうございます。今後も皆さんが安心して暮らせる地域である事を願いつつ、引き続きのご協力をお願い致します。



【令和4年度上半期小地域福祉ネットワーク 推進事業生活支援活動実績報告】

日常生活支援活動対象者	152名
活動実施世帯	561戸
実施延べ回数	1319回
主な支援活動・家事支援	・草取り ・買物
外出支援・外出や通院の送迎	・代筆・食事作り ・ゴミ出し・掃除
・買物の同行	・話し相手
・散歩付き添い	
その他	・簡単な用足し ・器具や電灯の修理
・救急車の要請	・不在配達の電話連絡
サロン活動	・支援対象者 3236人
・支援者	55人